

真剣勝負 (1971)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 75分

初公開日 1971/02/20

【解説】

内田吐夢の「宮本武蔵」五部作の番外編とも位置づけられている作品。剣豪・宮本武蔵と宍戸梅軒の死闘を描く。この作品が内田の遺作となった。脚本は伊藤大輔。撮影は黒田徳三が担当。

夕刻。宮本武蔵は、鈴鹿の山の奥深く、雲林院の荒野に建つ宍戸梅軒の家を訪れていた。梅軒と妻のお榎は鎖鎌に興味を示す武蔵に対し、酔った後に身包み剥いで追い出そうと画策するのだが、酒を酌み交わすうちにお榎の兄・辻風典馬を斬った相手ということが判明する。夜半、梅軒の手下八人衆が武蔵を襲おうとするが、風の変化を感じていた武蔵は既に見切っていた。ここに武蔵対梅軒・お榎との闘いが始まるのだが、八方から責めてくる分銅の攻撃に業を煮やした武蔵は、お榎が背負っている赤ん坊を奪い駆け出してゆく…。

【クレジット】

監督 内田吐夢

製作 椎野英之

大木舜二

原作 吉川英治

脚本 伊藤大輔

撮影 黒田徳三

美術 中古智

編集 永見正久

音楽 小杉太一郎

助監督 清水勝弥

出演 中村錦之助

沖山秀子

田中浩

岩本弘司

当銀長太郎

木村博人

伊藤信明

上西弘次

湯若芳太郎

荒木保夫

二瓶正也

沖山駿一

吉山利和

新乃蔵人

木村正道
熊谷卓三
磯貝武毅
松山秀明
尾形伸之助
三国連太郎